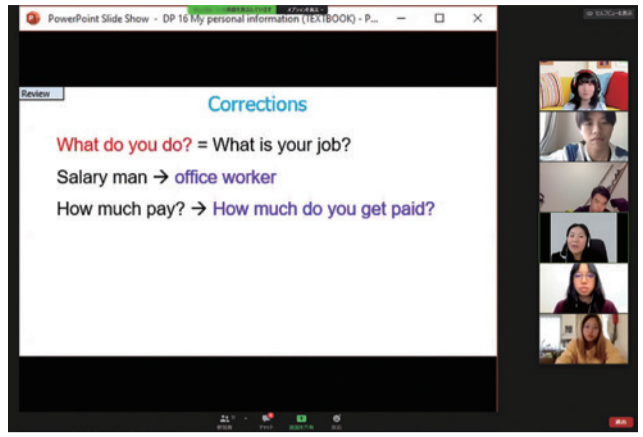


「毎日学べる英会話」

今年度から新規開講

国際交流センターで「生や英語力を高めたい学生、留学を考えている学生のために、多彩な支援

オンラインで行われている英会話講座



「毎日学べる英会話」は今年度から新設された初・中級者向けの英会話講座。大学授業の空き時間などを活用して、月々金曜日の毎日40分、全100回のレッスンを受けることができる。外国人講師による担任制で、1クラスは最大10人まで。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、オンライン形式にして後期(10/5~12/14)のみ全50回で開講している。講師はオーストラリア(商工)は「英会話講座を探していたところ、大学

さん。10月26日のレッスンには学生8人が参加し、新しくできた友人との自己紹介の場面を想定したフレーズなどを学んだ。レッスンは全て英語で実施。受講者同士でペアを組んでの会話練習では、受け答えに苦勞する様子も見られたが、学生たちは笑顔を見せながら、レッスンに取り組みだ。英語を話す機会を求め受講した大槻えりかさん(文3)は「毎回40分があつと言つて聞いてしまつてしまつた。他の受講生からも『上達した』という気持ちがあつた」と話した。山田健太さん(商工)は「英会話講座を探していたところ、大学

新規開設 オンライン留学プログラム 申し込み受け付け中

新たな留学スタイルとしてオンライン留学プログラムを開講します。英国とリアルタイムで結び、語学学習のみならず、テーマ学習を行います。

- ★英語発祥の地でQueen's Englishを学ぶ
★ビジネスやSDGsなどの特別テーマ学習でグローバルな学びを実現
★世界大学ランキング上位のオックスフォード大学生とのセッションあり
★本学出身の現地スタッフがプログラムをサポート

【申し込み締め切り】 2021年1月8日(金) 17:00

※先着順。期間、費用等はホームページでご確認ください。

専修大学 オンライン留学 検索

諦めず続けた英語学習 挑戦を継続する力を

【卒業生寄稿】石附拓さん(平21経済)

私は現在、半導体商社の豊田通商グループ・ネクステイエレクトロニクスに勤務し、米国・デトロイトに駐在しています。2017年、当時30歳という社内でも最年少の年齢で駐在員に選ばれ赴任しました。今、世界を相手に仕事ができているのは学生時代の経験があったからです。



米国・デトロイトで

「大学4年間で英語を流暢に話せるようになる」という目標を掲げ、入学直後から留学を志しました。そして1年次、TOEFLセミナーを受講。高校時代、英語試験は暗記で潜り抜けた自分にとって、それまで未体験の英語の難しさに打ちひしがれました。何度も諦めかけながらも、毎

日、通学時間や寝る間際のリスニング・シャドーイング、半身浴中の単語暗記、図書館やカフェで英語学習を続けました。10カ月ほど継続したところ、不思議と聞いた英語をそのまま発する

ことができる感覚を覚えたのです。米国・オレゴン大学への中期留学2カ月前のことでした。当時各地の英会話学校の無料レベル診断を受け続けていたことが、相手の発言をそのまま発することができ、言いたい事を少し言えるようになったのです。帰宅途中、うれしさのあまり走り出したのを今でも覚えてます。英語を話す事はまるで特殊能力のように感じていた私にとって、目標達成への光が見えた、人生の中でも特に衝撃を受けた瞬間でした。

継続は力なり。それを体験した私は失敗を恐れずさまざまな事に挑戦しました。留学中は日本人との交流は控え、留学後も東欧一人旅、外国人の友達づくりなど、英語を通して多くの新しい経験ができました。特に、インドネシアのスラム街での国

際教育ボランティアは、貧富の差がもたらす現実理解に加え、その環境下で笑顔あふれる生活を送っている人々を目の当たりにし、多くのことを考える貴重な機会となりました。

これらの経験で得られた最大の財産は、挑戦することの大切さです。英語力を手に入れようと邁進した結果、行動し挑戦し続ける力という、それ以上のものを得られました。それは今や世界で戦い抜くうえで一番の財産となり、人生において欠かせないものとなっています。

TOEFL セミナー (春期待訓コース) 申し込み受け付け中

短期集中でTOEFL L I T P テスト対策を

- ▽実施期間 2021年 2月15日(月)~3月10日(水)
▽募集人員 40人※先着順

▽受講料 3万2000円
▽申し込み方法 1ポータルサイトのアンケート欄に掲載されている【国際交流】「TOEFLセミナー(春期待訓コース)申込フォーム」より登録手続き【申し込み締め切り】1月22日(金)

留学を経験した学生が体験談を報告



「海外留学ができるかどうか不透明な情勢だが、チャンスが来た時に行動できるように準備しておいてほしい」と参加者と呼びかけた。

第19回海外留学・国際交流フェア

国際交流や留学プログラムについて理解を深めよう「第19回海外留学・国際交流フェア」が11月28日、オンラインで行われた。海外で活躍する卒業生からのメッセージ動画の放映、留学プログラムに参加した在学生

の体験談の発表報告と相談会などがあり、国際交流に関心がある学生約30人が参加した。本学で学んでいる留学生による異文化理解講座(カンボジア編)、韓国人ボランティアサークル「ナナム」による交流イベントなども実施され、楽しみながら海外について学ぶ機会となった。

オンライン展覧会 美術研究会が開催



美術研究会がオンライン美術展「何でもない日」を祝おうの特設サイトを公開している。写真。代表の田島直幸さん(文3)は、「思うように活動できないなか、会員から『何かをしたい』といった声が上がりがり、オンラインでの展覧会を企画した。8月からサイトのデザイン、ロゴやポスターの制作といった作業を進め、みんなで一つの

田島さん作『町一番の果報者』



ものを作り上げた」と経緯を語った。展覧会のタイトルは、「不思議の国のアリス」に登場した「お誕生日に試みだったが、満足いく展覧会に仕上がった。電車の中や眠れない夜など、ふとした時にサイトを開いていたとき、皆さんの『何でもない日』に彩りを添えることができたらうれし」と話している。

外国語のススメ 外国語教育研究室

- 88 -

宮田 宗彦 国際コミュニケーション学部准教授 (外国語教育研究室長)

皆さんが外国語を学ぼうとする動機は何でしょうか?

日常的な言葉で言えば、動機は「やる気」を意味します。この「やる気」は一体どこから来て、どのような形をしているのでしょうか。第二言語習得における研究では、「やる気」は全く動機づけられていない状態から、外発的に動機づけられた状態を経て、内発的に動機づけられている状態まで段階的に発展するものだと考えられています。具体的には、最初は動機のない状態から始まります。自分では何も決めず、何も動機づけられていません。例

えば「英語が嫌いでも全然やりたくない」という場合などがこれに当たります。

次に続くのは「英語は必修科目だから仕方なく勉強する」などといった状態で、動機が全く外発的なものです。

しかし、その次の段階になると動機を自分で決めるようになります。「大学生にもなって英語くらいできないと恥ずかしいから勉強しよう」などという場合がこれに当たります。

さらにもう一步進むと、動機がさらに個人的なものに変化していきます。「英語を使う仕事につきたいから勉強する」などという場合がこれに当たります。

そして最終的には内発的に動機づけられた状態に至ります。この段階ではその外国の言葉や文化に親しむことを強い動機とし、学ぶことそのものを楽しみにするようになります。

皆さんの外国語を学ぶ動機はどのようなものなのでしょうか。自身の動機を捉えることができれば、外国語学習の成否を占うことができるでしょう。

(応用言語学〈第二言語習得・英語教育学〉)

短縮版。全文はCALL教室ホームページで。